



計画はこの西防波堤の南側に百五十メートル、北側を百メートル延長し、総延長二千五百メートルに、また、これらから延長される部分の防波堤を沖合二百メートルに移動し泊地の拡大と安全を図るものです。

また、塩見地区泊地計画は、従来の計画水深十二メートル、水面積

道北経済の門戸として着々整備が進められている留萌港は、この程その整備計画の一部が変更されることになりました。

これは留萌港の周辺海域は、日本海特有の海象条件で波も高く、沿岸を航行する船舶の安全と避難泊地の整備が早期に望まれていたが、このための海難事故防止

を図るとともに、より安全な留萌港づくりのために計画変更をしたものです。

一部計画が変更されたのは、西防波堤の延長と堤の一部移行、泊地の拡大です。

西防波堤の延長工事は、さる昭和四十八年に総延長千八百メートルの計画で着工、現在まで約三百二十メートルが完成されており、また基礎捨石は約五百七十メートルまで先行投入されています。

## より安全な留萌港に

西防波堤の延長など計画の一部変更

四十九万平方メートルを、水深十二メートル、水面積五十四万平方メートルに変更するもので、この泊地の拡大により三千トンの貨物船が満載でも三隻分のスペースが余ると、操船や船舶の避難入港などの安全性がグーンと高まります。

従来の計画は、さる昭和四十七年五月に港湾審議会第五十回計画部会で決定され、昭和六十年を目途として進められているものです。

市としては、さる一月十日、この西防波堤及び泊地計画の一部変更を留萌地方港湾審議会に諮問、原案通り承認をいただきました。

この改正案は、五十二年三月に国のレベルで開かれる港湾審議会第七十七回部会で計画決定されることになっています。

### 塵芥収集車を購入

#### 収集業務を迅速に

市の塵芥収集業務のパワーアップをめざして、市では二月上旬までに塵芥収集車を購入することになりました。

購入されるのは極東開発のプレスバックE型、八トン車ですが、収集能力は一回に四・五トンのみです。

集できます。

また、制御回路内に記憶回路を組み込んであるため、途中で作業を止めても次の作業に規則正しくできるとともに、ゴミのこぼれることもなく安全な作業ができるということです。この収集車の購入で、市では収集日程の変更が四月上旬から行なわれる予定です。

### 3月から市内の環境濃度などの調査 固定局と移動局の2面で測定

市では、電源立地可能性の環境及び気象観測調査を三月上旬から市内数カ所を開始することになりました。



から定期的に一定所で測定を、毎月行ないます。

また、固定局は、四月から機器を一定個所に設置、約十日間ごとにデータ採取するものです。

この調査は、留萌市及び周辺地域の風向などのデータを調査するもので、移動局は三月上旬（機器積載マイクロバス）

／環境濃度測定地（固定局）  
沖見町幕地付近大和町（潮静小付近） 幌糠公民館付近（移動局） 見晴町、チバベリ 樽真布中幌糠・峠下・藤山・開運町 五十風町 春日町

／気象観測地（固定局）  
塩見灯台付近 沖見町（以下は環境濃度測定と兼用） 大和町、幌糠町の各カ所です。



ウ市長からメッセージを原田市長に

姉妹都市ウラン・ウデ市から代表団が、さる12月20日来留、留萌とウ市の、より強い絆を深め、友好の輪を強めました。

わずか2日間の訪問日程でしたが、留萌市内の公共施設や水産加工工場等の視察をし「ハラッシュョー」を連発していました。

## ウラン・ウデ市から訪問

### 友好と平和の絆を深めに

留萌市の姉妹都市であるウランウデ市の代表団が、昨年十二月二十日、留萌市を公式訪問、市議会や市内各工場等の視察見学で、より友好の絆を深めました。

今回のウ市代表団は、ムルチェンコ、ウ市執行委員会副議長と、ウ市工芸大学のフロロフ学長の二人です。

この代表団は、例年は十月中旬に留萌を訪れているものですが、気象等の関係で遅れたものです。

代表は、まず原田市長にウバーエフ・ウ市長のメッセージを手渡した後、両市のより友好を深める

ための努力を約束しました。

その後二日間にわたり市内を視察見学、中央公民館では、市内の学校長、教育委員と教育についての意見交換会を行ない、お互いに共通の問題として取組みを進めることを約束しました。

また、市立保育所、東光小学校留萌高校、井原水産などの見学をし、加工技術のすばらしさに「ハラッシュョー」を連発していました。

わずか二日間の訪問日程でしたが、二代表は、どこにあつても私たちは人間同志、お互いに努力しあつて平和な姉妹都市として絆を深めよう。市民の皆さんのご幸福を祈ります。という言葉を残し、留萌市に別れを告げました。



市立保育所では着物の児童から花束を贈られニツコリ

一市の製造工場では製品の立派なのに驚きの声を（小平町で）

一市議会議員との名刺交換「お互いに住みよい町づくりを」と固い握手

一市立病院で医療施設の充実にはハラッシュョーを連発

一ウ市から贈られた動物の刺繍の展示に目を細める公民館で

